

新潟コンピュータ専門学校

学校関係者評価報告書 (2019年度)

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行

われているか

- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善にかつようされているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 教育理念・目標

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4↑
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3

(2) 現状

- 当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの教育理念、教育目標のもと、各学科において学科教育目標が定められている。

【教育理念】

誠 実
明 朗
進 取

【教育目標】

建学の精神

：教育、文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。

スペシャリストの育成

：卒業後すぐに役立つ資格、能力、知識を備えた「スペシャリスト」を育成する。

豊かな人間形成

：社会的常識と基本マナーを備え、明るく健康で建設的な意思を持ったビジネスマン、ビジネスウーマンを育成する。

- 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる
 - ・ 専門分野の企業と連携した最新技術教育を実践している。
 - ・ 卒業後の進路選択に備えて専門分野の資格取得に対応するためのカリキュラムを整備している。
 - ・ 豊かな人間性を養うために地域行事への参加や、ボランティア活動などを実施している。
 - ・ 国際的な視野を養うため、海外研修を必修化している。(近年はアメリカ/台湾)
 - ・ 専門分野の第一線で活躍されている講師を招き、学生への特別授業や定期的に職員の勉強会や特別講演会を実施している。(最近ではAI、セキュリティ、VR、Vtuber、5G)
- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。
- 保護者には新入生保護者見学会および保護者就職説明会、そして定期的な保護者相談会を実施し、学校活動の周知や学生状況の情報交換を行っている。

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

保護者との連絡や情報交換は、コロナ渦において、一層お願いしたい。

2. 学校運営

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(2) 現状

- 運営方針は部門長によって作成されるビジョンシートに明記され、全教職員に周知される。
- 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- 教務・財務等の組織整備など、法人全体の重要事項については、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項についても、理事会・評議委員会を開催して意志決定がなされている。
- 校内においては職員会議を定期的に行い、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意志決定を効率的に行っている。
- 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- 教育活動等については当校 Web サイト等により情報公開に努めている。
- 情報システムとしては、学籍管理システム、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により効率的に運用されている。
- 一昨年度より学科長以上に法人カードの支給、および現金精算の Web 上での申請・承認ができるようになり、簡易化・スピード化を図ることができている。
- ブログや LINE、ツイッター等の SNS で日々の教育活動・教育実績の情報公開に努めている。

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

特になし

3. 教育活動

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	3
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	3
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4↑
職員の能力開発のための研修などが行われているか	3

(2) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科長を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得についてはカリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。また、対策授業を取り入れることで学生の資格取得を支援している。
- 教員の資質向上については、専任講師は法人の資格取得奨励制度の活用による専門分野の資格取得を含め、研修会、学会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発については法人全体でマネジメントや広報等、各種研修に取り組んでいる。
- 専門分野の第一線で活躍されている講師を招き、定期的に職員の勉強会を実施し、チームで競わせながら互いの知識・技能の向上に努めている。(最近ではAI、セキュリティ、VR、Vtuber、5G)

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

今後も業界へ即戦力の技術者が輩出できるよう、尽力していただきたい。

4. 学修成果

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(2) 現状

- 就職部長を配置し、法人の関連部署、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- キャリア教育として、業界関係者、業界で活躍する卒業生等による講演を毎年開催している。また、就職に向けた動機付けや業界研究等を行う宿泊型の研修も毎年実施している。
- 健康上の理由や精神的な理由による欠席等、学生の状況については、月例の職員会議で学科長からの報告により把握、共有される。また保護者との連携強化を図り、学生の生活上の諸問題等についてもご家庭と共有する形式にて退学率の低減に努めている。
- 卒業生については校友会が組織され、校友会との連携により卒業生の動向を把握している。校友会では各学年より1名の実行委員が選出され、名簿の作成や同窓会等の校友会活動が実施されている。
- 2019年度の専門職就職率は84.7%
(参考：2018年度84.8%、2017年度84.4%、2016年度82.6%)
- 以下の学科では専門職就職率100%達成
IT高度専門学科情報システム専攻【4年制】※2年連続
IT高度専門学科ゲーム専攻【4年制】
以下の学科でも専門就職率高水準
情報システム科【3年制】、95.2%
情報システム科【2年制】93.3%

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

就職率100%および専門職就職率が高い水準でキープされている点は評価に値する。

県内・県外の就職率についての確認。

コロナ感染拡大で、県内就職希望者が多くなることを予測した対応確認。

5. 学生支援

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4↑
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4↑
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2

(2) 現状

- 進路・就職相談について、担任が窓口となり、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、学科枠を超えた求人に対しても分野の学科長を交えた進路・就職相談を実施している。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- 課外活動については、一定の基準を満たした団体について、学校公認のクラブ活動と認定し、活動費の補助等の支援を行っている。
- 年2回(6月・12月)に保護者会を開催している。希望者には学科長との個別面談を実施し、保護者との連携を図っている。最近ではオープンキャンパス時に保護者対象の説明会や、入学式前後に保護者対象の校舎見学会も実施している。
- 卒業生に対しては校友会を通じて求人情報等の各種情報を提供している。一昨年度から校友会 Facebook ページを開設した。また、卒業生がスキルアップを図ることができる講座を付帯事業として情報提供している。一昨年度は文科省の委託事業として 3DCG アニメーション講座を実施。
- 昨年度は厚生労働省および新潟テクノスクールの委託事業「長期人材育成コース 情報システム科」「短期人材育成コース DS Web クリエーター科1」を受託。長期は申し込み0名であったが、短期は14名受講し13名修了した。
今年度は長期が4名入校し継続中、短期は定員の18名受講し17名修了した。

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

離職率の確認。

コロナの影響も含めて新潟へのUターン転職等、卒業後の就職支援も検討して頂きたい。

6. 教育環境

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	3↑

(2) 現状

- 本校では学生の個人 PC 制を導入し、学内外にて作品制作が出来る環境づくりを実践している。このため学内の無線 LAN 環境を整備し適切なネットワーク環境の提供に努めている。
- 今年度から法人が所有する研修施設の利用が出来なくなったが、新入生オリエンテーション研修・国内研修旅行では、外部宿泊施設を利用して研修を実施した。
- 当校では教育目標の達成のために、海外研修ともに必修科目としており、海外研修では受入先と連携して研修が進められるよう教育体制を整備している。
- NSG ホールディングスグループ 100%出資の株式会社新潟人工知能研究所（代表取締役黒田達也）と連携したインターンシップを実施し、実践的なデータ・サイエンスの学びの場を学生に提供できた。
- 昨年度は VR ルームを設置、今年度校舎移転後に VR Lab として拡大設置。
昨年度、新潟デジコングランプリにて新設された VR コンテンツ部門でグランプリ（1位）と優秀賞（2位）を受賞。
今年度の VR コンテンツ部門では、グランプリ（1位）と優秀賞（2位）と奨励賞（3位）を受賞し、上位独占となった。
- 今年度、校舎移転をし、新たな実習室や施設もでき、職員・学生の士気が高まっている。
System Lab … VUE 試験環境（Microsoft、ORACLE、Cisco、CompTIA、Unity）
※Unity は全国専門学校初トレーニングパートナー校
Network Security Lab … Cisco 教育提携（世界標準のネットワーク知識・技術）
新潟県警サイバーパトロールボランティア活動
中学生上級学校訪問時の実習（ゲームプログラミング体験）
Game Lab … ツインモニターで開発効率向上、デバッグ等の検証
「短期人財育成コース DS Web クリエーター科1」でも3か月間使用
VR Lab … VR 専用機器多数導入（Vtuber でも活用）
Design Lab … 全台 Mac、各種タブレット導入
esports PV Lab … esports ゲームタイトルをプレビューや評価し合う場
esports スタジアム … esports タイトルの最大対戦人数（5vs5）に対応し、
最大10人で対戦できる esports 施設

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

新校舎移転に伴う在校生および保護者と外部の方の反応についての確認。

7. 学生の受入れ募集

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4↑
学納金は妥当なものとなっているか	4↑

(2) 現状

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また、毎月オープンキャンパス（学校説明会）を開催し、オープンキャンパスでは授業体験を実施して当校に対する理解を深めてもらっている。その他、学校長や職員による県内高校訪問等による学生募集活動も実施している。
- 卒業生の進路状況や各種資格検定取得状況等の教育成果は、パンフレットや Web サイトへの掲載によって公開されている。
- 一昨年度から LINE@を導入し、入学希望者に対してダイレクトでスピーディーな発信や、1:1 の対応が出来るようになり、今年度も大いに活用できた。
- 自校の公式ブログ、LINE、インスタグラム、ツイッターも大いに活用し、ほぼ毎日情報更新することで、今年度の学生募集活動に大きく貢献できた。

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

新校舎によるオープンキャンパスについての評価・反応の確認。

8. 財務

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
財務について会計監査が適正に行われているか	3
財務情報公開の体制整備はできているか	4↑

(2) 現状と課題

法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

(3) 今後の改善施策

現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていきたい。

(4) 特記事項

学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている

(5) 学校関係者委員会ご指摘事項

特になし

9. 法令等の遵守

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
自己評価結果を公開しているか	4↑

(2) 現状

- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部で窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- 教職員へのアンケート等も踏まえた自己評価を実施し、問題点については順次改善に取り組んでいる。平成 25 年度からは学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。
- 本報告書については、当校の Web サイトに掲載して広く公開している。

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

特になし

10. 社会貢献・地域貢献

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4↑
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

(2) 現状

- 県内中学校の総合学習にて分野の職業紹介・体験を実施している。
- ICT大会やサイバーパトロールボランティア等、新潟県警察と協力したイベントを定期的に開催した。その功績により、昨年度新潟県警から感謝状を頂き、霞ヶ関の警察庁生活安全局長警視監からも表彰を受けた。
- 前述にも挙げたが、昨年度より厚生労働省および新潟テクノスクールの委託事業「長期人財育成コース 情報システム科」「短期人財育成コース DS Web クリエーター科1」を受託できている。

昨年度は、長期は申し込み0名であったが、短期は14名受講し13名修了した。

今年度は、長期は4名入校、短期は18名受講し17名修了した。

- 今年度「厚生労働省訓練プログラム開発事業 AIカリキュラム1年開発」を受託し、東京大学の田中先生によるAIセミナーを実施。また、東京大学、モリパワー株式会社および新潟人工知能研究所の協力のもと、社会人AI講座を実施した。
- 今年度「新潟市実践実験プロジェクト事業補助金」にVtuberで参加し、新潟市と連携しながら、新潟市のPR活動に貢献した。

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

「厚生労働省の社会人講座委託事業」の状況確認。

「厚生労働省訓練プログラム開発事業 AIカリキュラム1年開発」の状況確認。

「新潟市実践実験プロジェクト事業補助金」にVtuberで新潟市との連携は興味深い。今後も期待したい